

**【ジベレリン最新適用表】**

2023年3月14日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (ヒムロッド系を除く2倍体米国系品種) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 100ppm 第2回目ジベレリン 75~100ppm	果房散布の 場合は 30~100L/10a	満開予定日約14日前 (第1回目)及び満開約 10日後(第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬 又は果房散布	2回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計4回以内
ぶどう (ヒムロッド系)	果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	—	着粒後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (大粒系テラウェア) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	ジベレリン 200ppm	—	展葉7~8枚時	1回	花房浸漬(ホルクロ ルフェニユロン5~ 10ppm液に加入)	1回
ぶどう (テラウェア) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 100ppm 第2回目ジベレリン 75~100ppm	果房散布の 場合は 30~100L/10a	満開予定日約14日前 (第1回目)及び満開 約10日後(第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬 又は果房散布	2回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計4回以内
ぶどう (キャンベルアーリーを除く 2倍体米国系品種) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン 50ppm	—	満開10~15日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (キャンベルアーリー) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン 50ppm	—	満開10~15日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	2回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計3回以 内
	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100L/10a	満開予定日 約20~30日前 (展葉3~5枚時)	1回	花房散布	
ぶどう (2倍体欧州系品種) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 25ppm 第2回目ジベレリン 25ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計5回以 内
	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100L/10a	満開3~5日後 (落花期)	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房浸漬(ホルクロ ルフェニユロン 10ppm液に加入)	
ぶどう (ヒロハンブルグを除く 2倍体欧州系品種) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	—	満開10~20日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (ヒロハンブルグ) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン 50~100ppm	果房散布の 場合は 70~80L/10a	満開10~15日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬又は果房散布	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (キングデラ、ハニー シードレス、BKシードレ スを除く3倍体品種)	着粒安定、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 25~50ppm 第2回目ジベレリン 25~50ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計5回以 内
	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100L/10a	展葉3~5枚時	1回	花房散布	
ぶどう (BKシードレス)	着粒安定、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 25~50ppm 第2回目ジベレリン 25~50ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	2回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計4回以 内
		ジベレリン 100ppm	—	満開3~6日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房又は果房浸漬	
ぶどう (キングデラ)	着粒安定、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 50ppm 第2回目ジベレリン 50~100ppm	果房散布の 場合は 50~100L/10a	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬 又は果房散布	2回
ぶどう (ハニーシードレス)	着粒安定、 果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	—	満開3~6日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房又は果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (サニールージュを除く 巨峰系4倍体品種) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 12.5~25ppm 第2回目ジベレリン 25ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計5回以 内
		ジベレリン 25ppm	—	満開3~5日後 (落花期)	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房浸漬(ホルクロ ルフェニユロン10ppm液 に加入)	
	無種子化	ジベレリン 12.5~25ppm	—	満開時~満開3日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房浸漬(満開10~15日 後にホルクロルフェニユ ロンによる果粒肥大促進 処理を行うこと)	
	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100L/10a	展葉3~5枚時	1回	花房散布	
ぶどう (サニールージュ) 【無核栽培】	無種子化、 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 12.5~25ppm 第2回目ジベレリン 25ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計5回以 内
		ジベレリン25ppm	—	満開3~5日後 (落花期)	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房浸漬 (ホルクロルフェニユロン 10ppm液に加入)	
	無種子化	ジベレリン 12.5~25ppm	—	満開時~満開3日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房浸漬(満開10~15日 後にホルクロルフェニユ ロンによる果粒肥大促進 処理を行うこと)	
	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100L/10a	展葉3~5枚時	1回	花房散布	
	着粒密度低減 果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 25ppm 第2回目ジベレリン 25ppm	—	満開予定日14~20日前 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	第1回目:花房浸漬 (ホルクロルフェニユロン 3ppm液に加入) 第2回目:果房浸漬	
ぶどう (巨峰) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン25ppm	—	満開10~20日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (ルビーロマン) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン25ppm	—	満開10~20日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (ハニービーナス) 【有核栽培】	果粒肥大促進	ジベレリン25ppm	—	満開10~20日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (高尾)	果粒肥大促進	ジベレリン 50~100ppm	—	満開時~満開7日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房又は果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (ふくしずく)	果粒肥大促進	ジベレリン 50~100ppm	—	満開時~満開7日後	1回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計2回 以内	花房又は果房浸漬	1回、但し降雨等によ り再処理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう (あづましずく)	果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 25~50ppm 第2回目ジベレリン 50ppm	—	満開時(第1回目) 満開4~13日後 (第2回目)	2回、但し降雨等 により再処理を行う 場合は合計4回 以内	果房浸漬	2回以内、但し降雨 等により再処理を行 う場合は合計4回以 内

※最新の適用表等は住友化学(株)より資料の提供を受けました。

**ジベレリン使用上の注意**

- (1)ぶどう
- ぶどうに関する作物名中の品種による区分は、ジベレリンに対するぶどうの反応性の違いを考慮した区分なので、ぶどうの品種がどの区分(品種群)に該当するか、病害虫防除所等関係機関に確認してから使用すること。
  - 下記③の「ぶどうの品種による区分」に記載のない品種に対して本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるか、自ら事前に薬効及び薬害を確認した上で使用すること。
  - ぶどうの品種による区分
    - 2倍体米国系品種  
「マスカットベリー A」「アーリースチューベン(バッファロー)」「旅路(紅塩谷)」
    - 2倍体欧州系品種  
「ロザリオ ピアンコ」「ロザキ」「瀬戸ジャイアンツ」「マリオ」「アリサ」「イタリア」「紫苑」「ルーベルマスカット」「ロザリオロン」「シャインマスカット」
    - 3倍体品種  
「サマーブラック」「美嶺」「ナガノパープル」「キングデラ」「ハニーシードレス」「BK シードレス」
- 二. 巨峰系4倍体品種  
「巨峰」「ヒオーネ」「安芸クィーン」「翠峰」「サニールージュ」「藤稔」「高妻」「白峰」「緋紅玉(旧ゴルビー)」「多摩ゆたか」「紫玉」「黒王」「紅義」「シナスマイル」「ハイベリー」「オーロラブラック」「あづましずく」「ふくしずく」等の巨峰系4倍体シードレス品種は該当しない。